

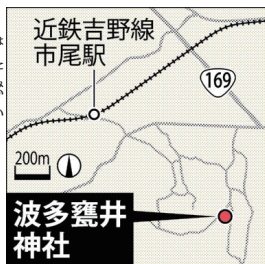


波多甕井神社の社殿—高取町で



波多甕井神社（高取町）

- （住所）高取町羽内2355
- （祭神）甕速日命
- （交通）近鉄市尾駅から徒歩約20分
- （拝観）境内自由
- （駐車場）なし
- （電話）なし



波多甕井神社は、高取町で唯一、平安時代の法

令集「延喜式」に記載された式内大社です。祭神は甕速日命ですが、近世の地誌「大和志」には天照大神を祭ると書かれていました。鎮座する地は、古代豪族の波多氏が住む波多郷でした。近くには清水が

湧き出る「太師井戸」があり、貴重な水源である「水甕」として使われてきました。こうしたことが、神社の名につながったと考えられます。

高取町では江戸時代末期より売薬業が発展し「日本書紀」には、推古天皇の時代、毎年5月5日、この地で「薬獵」が行われていたと記載されています。

このように、推古天皇ゆかりの地であることから、当社は日本遺産「日本国創成のとき〜飛鳥を翔た女性たち〜」の構成文化財となっています。この地域は古くから開けており、当社の東方2キロには古墳時代の清水谷遺跡があります。ここからは、オンドル（床暖房）を備えた渡来人の住居跡が出土しました。（奈良まほろばソムリエの会員 福原康之）

清水湧き出る「薬獵」の地

（奈良まほろばソムリエの会員 福原康之）